藤田嗣治 × 国吉康雄　二人のパラレル・キャリア―百年目の再会　展

記念シンポジウム「20世紀前半の二人の日系画家をめぐって」

「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト　開催記念

日時｜7月6日(日)13:00～17:30(開場12:30)

会場｜兵庫県立美術館・KOBELCOミュージアムホール

20世紀前半の激動の時代に、海外で成功と挫折を経験した二人の日本出身、日本から海外に「永住」した画家、藤田嗣治と国吉康雄の展覧会の開催によって、この夏、神戸にふたりの代表作が集結します。この機にあわせて国内外から専門家を招き、シンポジウムを開きます。基調講演では、近年アメリカで急速に進展するアジア系アメリカ人作家の研究・展示状況について、国吉に関する単著のあるシープー・ワン教授（カリフォルニア大学マーセド校）に概観いただきます。第一部では若手研究者セッションとして二画家の最新の研究状況を紹介、第二部では近代美術作品についての知見豊かな修復家を招き、当館の保存修復担当学芸員も加わり、両作家の絵画技法について比較検討します。主要作品を館内で間近に鑑賞するに合わせ、同世代の「日系画家」藤田と国吉の共通性と差異を一歩深く考える機会となることを願っています。

申込方法｜6月5日より兵庫県立美術館ウエブサイトにて受付（先着順・定員140名）。聴講には展覧会観覧券が必要です。

主　　催｜藤田国吉展実行委員会、「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト実行委員会
協　　力｜岡山大学学術研究院教育学域《国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座》、藤田嗣治　絵画と写真展：実行委員会
助　　成｜公益財団法人戸部眞紀財団

プログラム

13:00　**開会の辞**
13:05-13:20　**イントロダクション「20世紀、二人の“日系”画家を向かい合わせる」**林洋子（当館館長、本展監修者）
13:20-14:10　**基調講演「戦間期のアメリカでの日系およびアジア系アメリカ人コミュニティの歴史をたどる（仮）」**
“Retracing the History of Nikkei and Asian American Artistic Communities in the Interwar U.S.”
シープー・ワン（王士圃、ShiPu Wang、カリフォルニア大学マーセド校教授）
14:10-15:05　**第1部「藤田、国吉の研究動向2025：若手研究者セッション」**司会：橋本こずえ、武澤里映（当館学芸員）
「藤田研究の新動向―《写真》からのアプローチ」森本陽香（名古屋市美術館学芸員、「藤田嗣治　絵画と写真」展担当）
「国吉研究の動向紹介―岡山大学国吉講座の取組」伊藤駿（岡山大学国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座助教）
司会を交えたクロストーク・質疑
15:05-15:20　**休憩**
15:20-16:25　**第2部「二人の絵画技法を対比する：保存修復からのアプローチ」**司会：横田直子、岩松智義（当館学芸員）
「藤田嗣治の技法に関する調査の始まり―タルクに焦点をあてて―」渡邉郁夫（修復家、修復研究所21所長）
「国吉康雄のカゼイン技法について　《イーグルズ・レスト》（東京国立近代美術館蔵）をめぐって」
土師広（修復家、土師絵画工房代表）
司会を交えたクロストーク・質疑
16:25-16:30　**場面転換**
16:30-17:30　**総括＋討議**　三浦篤（大原美術館館長、東京大学名誉教授）
17:30　**閉会の辞**

（18時閉館）